

高松市パートナーシップの宣誓に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、パートナーシップの宣誓に関し必要な事項を定めることにより、誰もが互いに人権を尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 性的少数者 典型的とされていない性的指向を持つ者及び性自認をする者をいう。
- (2) パートナーシップ 互いを人生のパートナーとし、相互の協力により、継続的に共同生活を行っている、又は継続的な共同生活を行うことを約した、一方又は双方が性的少数者である2人の者の関係をいう。
- (3) 宣誓 パートナーシップにある2人が市長に対し、双方が互いのパートナーであることを宣誓することをいう。

(宣誓をすることができる者の要件)

第3条 パートナーシップの宣誓をすることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 双方が民法（明治29年法律第89号）第4条に規定する成年に達していること。
- (2) 住所について次のいずれかに該当すること。
 - ア 双方が市内に住所を有していること。
 - イ 一方が市内に住所を有し、かつ、他の一方が市内への転入を予定していること。
 - ウ 双方が市内への転入を予定していること。
- (3) 双方に配偶者がいないこと及び宣誓をしようとする者以外の者とパートナーシップにないこと。
- (4) パートナーシップの宣誓をしようとする者同士が近親者（直系血族若しくは三親等内の傍系血族又は直系姻族をいう。）でないこと。ただし、

パートナーシップにある者が養子縁組をしている場合を除く。

(宣誓の方法)

第4条 パートナーシップの宣誓をしようとする両者は、そろって市職員の面前においてパートナーシップ宣誓書(様式第1号。以下「宣誓書」という。)に自ら記入し、次の各号に掲げる書類を添えて市長に提出するものとする。ただし、当該両者の一方又は双方が宣誓書に自ら記入することができないと市長が認めるときは、両者立会いの下で他の者に代筆させることができる。

(1) 住民票の写し

(2) 現に婚姻をしていないことを証明する書類

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が適当と認める書類

2 パートナーシップの宣誓をしようとする者は、本人であることを明らかにするため、宣誓書を提出する時に、次の各号に掲げる書類のいずれかを提示するものとする。

(1) 個人番号カード(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)第2条第7項に規定する個人番号カードをいう。)

(2) 旅券

(3) 運転免許証

(4) 前3号に掲げるもののほか、官公署が発行した免許証、許可証又は登録証明書等であって、本人の顔写真が貼付されたもの

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が適当と認める書類

3 パートナーシップの宣誓をしようとする者は、宣誓をする日時等について事前に市と調整するものとする。

(通称名の使用)

第5条 パートナーシップの宣誓をしようとする者は、性別違和等を理由として通称名(戸籍に記載された氏名に代えて当該氏名以外の呼称で当該氏名に代わるものとして広く通用しているものをいう。以下同じ。)を使用している場合で、市長が特に認めるときは、パートナーシップの宣誓における氏名について、当該通称名を使用することができる。

2 前項の規定により通称名の使用を希望する者は、日常生活において当該通称名を使用していることを確認することのできる書類を前条第1項の宣誓を行う時に提示しなければならない。

(証明書の交付)

第6条 市長は、第4条第1項の規定による提出のあった宣誓書、添付書類等により、パートナーシップの宣誓をした者(以下「宣誓者」という。)が第3条に掲げる要件を充たしていると認めるときは、宣誓書を受領し、当該宣誓者に対し、パートナーシップ宣誓証明書(様式第2号。以下「証明書」という。)に宣誓書の写しを添えて交付するものとする。

2 宣誓者が前条の規定により通称名を使用したときは、当該通称名と戸籍に記載されている氏名(外国人の場合にあっては、これに準ずるもの)を証明書に記載するものとする。

(証明書の再交付)

第7条 前条第1項の規定による証明書の交付を受けた者は、当該証明書の紛失、毀損等の事情により証明書の再交付を希望するときは、パートナーシップ宣誓証明書再交付申請書(様式第3号)により市長に対し申請をすることができる。

2 市長は、前項の規定により再交付の申請があった場合は、証明書を再交付するものとする。

(証明書の返還)

第8条 証明書の交付を受けた者は、次の各号のいずれかに該当するときは、パートナーシップ宣誓証明書返還届(様式第4号)に交付を受けた証明書を添えて、市長に提出しなければならない。

(1) 当事者の意思によりパートナーシップが解消されたとき。

(2) 一方が死亡したとき。

(3) 一方又は双方が市外に転出したとき。

(4) 次条第2項の規定により交付を受けた証明書の返還を求められたとき。

(パートナーシップの宣誓の取消し)

第9条 市長は、宣誓者が虚偽その他不正な方法により証明書の交付を受けた

こと又は交付を受けた証明書を不正に利用したことが判明したときは、当該パートナーシップの宣誓を取り消すものとする。

2 市長は、前項の規定によりパートナーシップの宣誓を取り消した場合は、第6条の規定により交付をした証明書の返還を求めるものとする。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

様式第1号（第4条関係）

（表）

年 月 日

（宛先）高松市長

パートナーシップ宣誓書

私たちは、高松市パートナーシップの宣誓に関する要綱の規定に基づき、互いが人生のパートナーであることを宣誓し、署名します。

フリガナ

氏 名

（通称名の場合、
戸籍上の氏名）

生年月日

年 月 日

年 月 日

住 所

（代筆者）

氏 名

住 所

(裏)

パートナーシップの宣誓に当たっての確認書

私たちは、高松市パートナーシップの宣誓に関する要綱（以下「要綱」という。）の規定に基づくパートナーシップの宣誓（以下「宣誓」という。）を行うに当たり、次の内容を確認した上で、宣誓をします。

また、次の内容が事実と異なることが判明した場合は、パートナーシップ宣誓証明書を高松市に返還します。

フリガナ
氏名 _____

フリガナ
氏名 _____

要綱の規定	確認事項	回答欄 (該当するものに「レ」をつけてください。)		
第2条	(関係性) 互いを人生のパートナーとし、相互の協力により、継続的に共同生活を行っている、又は継続的な共同生活を行うことを約した、一方又は双方が性的少数者であること。	<input type="checkbox"/> 左記に該当します。	<input type="checkbox"/> 左記に該当しません。	
第3条	(年齢要件) 宣誓当日において、双方が成年に達していること。	<input type="checkbox"/> 左記に該当します。	<input type="checkbox"/> 左記に該当しません。	
	(住所要件) 次のいずれかに該当すること。	<input type="checkbox"/> 左記の①②③のいずれにも該当しません。		
	①双方が高松市内に住所を有している。	<input type="checkbox"/> ①に該当します。		
	②一方が高松市内に住所を有し、かつ、他の一方が高松市内へ転入を予定している。	<input type="checkbox"/> ②に該当します。 転入予定者 () (転入予定日 年 月 日)		
	③双方が高松市内への転入を予定している。	<input type="checkbox"/> ③に該当します。 転入予定者 () (転入予定日 年 月 日) 転入予定者 () (転入予定日 年 月 日)		
	(独身要件) 双方に配偶者がいないこと及び宣誓をしようとする者以外の者とパートナーシップの関係（他都市のパートナーシップ制度を含む。）にないこと。	<input type="checkbox"/> 左記に該当します。	<input type="checkbox"/> 左記に該当しません。	
	(近親者でないこと) 双方の関係が近親者（直系血族、三親等内の傍系血族又は直系姻族をいう。）でないこと。ただし、養子縁組をしている場合を除く。	<input type="checkbox"/> 左記に該当します。	<input type="checkbox"/> 左記に該当しません。	

様式第2号（第6条関係）

（表）

パートナーシップ宣誓証明書	
高松市パートナーシップの宣誓に関する要綱の規定に基づき、パートナーシップの宣誓をされたことを証します。	
_____ 様	_____ 様
第 号	
年 月 日	
高松市長	印

（裏）

高松市は、誰もが互いに人権を尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現を目指しています。

この証明書により法律上の効果が生じるものではありませんが、お二人が人生のパートナーとして、いきいきと輝き、活躍されることを期待しています。

この証明書の提示を受けた方は、上記の趣旨を十分に御理解くださいますようお願いいたします。

特記事項

備考 特記事項欄には、再交付した場合の交付年月日等を記載する。

様式第4号（第8条関係）

年 月 日

（宛先）高松市長

パートナーシップ宣誓証明書返還届

年 月 日付で交付を受けたパートナーシップ宣誓証明書（以下「証明書」という。）について、高松市パートナーシップの宣誓に関する要綱（以下「要綱」という。）第8条の規定により、返還します。

返還の理由（いずれかに○をしてください。）

- （1） パートナーシップの解消
- （2） 死亡
- （3） 高松市からの転出
- （4） 要綱第9条第2項の規定により交付を受けた証明書の返還を求められたため

（パートナーシップの宣誓をした者）

フリガナ

氏 名 _____

（通称名の場合、
戸籍上の氏名） _____

生年月日 _____年 月 日 _____年 月 日

住 所 _____

（代筆者）

氏 名 _____

住 所 _____